

優 秀 賞

「 合縁奇縁 」

経営学科 3年 阿部 萌霞

運を使い果たしたと思えるほどの経験を1回生の時にした。

私が高校1年の時、生徒会長立候補者演説で、全校生徒を惹きつけてしまう程の話術の凄さと貫禄がある先輩に憧れた。その先輩の卒業後の進路は知らなかった。だが、高校3年生の時、本学のオープンキャンパスで、その先輩が学生スタッフとして居たのでビックリした。直接話すのはその時が初めてだったけれど、やはり、コミュカモンスターだった。私はそんな先輩のような学生スタッフになりたいくて、この大学を選んだと言っても過言ではない。

狭き門の学生スタッフの面接時には、入試の面接より緊張して震えた。無事に学生スタッフになれば、班が発表されたとき目を疑った。なんと！憧れだった先輩が私の班のリーダーだった！その時、私は運を使い果たしたと思うぐらい喜んだ。

しかし、それも束の間、資格講座が始まり、学生スタッフとの両立は思い描いていたより遥かに大変で、周りの学生スタッフよりも後れを感じ、何度となく挫けそうになった時も、見放さず、育ててもらえたおかげで今の私がいる。

そして3回生となり、リーダー学年となった今年、嬉しいことが2つあった。

1つ目は、去年のオープンキャンパスで、私がなんでも相談で話していた子が、「私のこと覚えていますか？萌霞さんが楽しいと笑顔で話してくれて、私もそうになりたいと思って・・・」と、入学して来て声をかけてくれたこと。

2つ目は、今年の班が発表された時、母校の後輩が、たまたま同じ班になり、驚きと嬉しさでいっぱいになった。

憧れる立場だった私がリーダー学年となった。諸先輩方に教えて頂いたことを胸に、初心を思い返すとともに、襟を正して、笑顔を忘れずに、楽しく向き合っていきたいと思う。